

## 星になっていた伊能忠敬

最近、小惑星 (*Minor Planet*) リュウグウを探索している「はやぶさ」の活躍が楽しみな話題ですね。そのはやぶさがリュウグウへの旅の途中で遭遇したかもしれませんが、火星と木星の間の「小惑星帯」に我等シニア世代が尊敬して止まないシニアのスターである伊能忠敬という名前の小惑星があります。正式な名称は「**小惑星番号 9255 番 Inoutadataka**」といいます。

(9255) Inoutadataka = 3174 T-1

Named in memory of Inou Tadataka (1745–1818), a very able geographer and surveyor. He began to study astronomy and surveying methods after he retired from his official job at the age of 50. He began surveying in Hokkaido at his own expense. Since the map he made was found to be excellent, the Tokugawa government asked him to continue the survey on Honshu. He completed his survey of the Japanese coastal area by measuring astronomical latitudes at 1200 places, and he derived the length of the meridional arc of one degree to be 110.8 km. His map, smuggled to Europe on a Dutch ship, won wide respect there.

発見日・発見場所・発見者は、次のとおりです。

Discovery date : 1971 03 26

Discovery site : Palomar

Discoverer(s) : van Houten, C. J., van Houten-Groeneveld, I., Gehrels, T.

発見者のファン・ハウテン (van Houten) さんは、オランダの天文学者 (1920~2002) です。伊能忠敬の業績を讃えて、命名したそうです。なお、ファン・ハウテンさんは、ライデン大学で小惑星を研究しておられてそうなので、シーボルトを介して伊能忠敬の業績に感銘を受け、発見した小惑星に伊能忠敬と命名したのだと思われます。

この小惑星は、火星と木星の間の「小惑星帯」にあり、3年252日の周期で太陽のまわりをまわっているそうです。推定される大きさは5~10km程度だそうです。

## 白昼に金星の南中を観測した伊能忠敬

寛政九年十月四日 (1797/11/21 14:30)、いて座の近く 高度 24度6分

\* 惑星の推歩を計算できたことから、その時刻に望遠鏡を真南の方向、高度 24度6分にセットして待ち構えていた。

※寛政七年 (1795)

四月 高橋至時 江戸へ

五月 伊能忠敬 江戸へ

?月 伊能忠敬、高橋至時に師事して天文暦学を学び始める

九月 高橋至時 天文方任命

寛政十年一月一日 (1798/2/16) 寛政の改暦

寛政十二年閏四月十九日 (1800/6/11) 蝦夷地測量に出立

